



わたしのまちづくり

シリーズ③



小田昭雄さん

落合 忠さん

(上中小野)

(湯 免)

心のふるさと三隅

恵まれた自然、美しい緑がまだまだ残っている三隅を私はこよなく愛している一人です。文化の里、福祉の里づくりが実現に向けて着々と成果をあげつつある姿を見て、更にその感を強くしている昨今です。

ところで「わがふるさとみすみ」を考えると、人口の減少、急速な高齢化は避けがたい深刻な問題です。それを前提として活力あるまちづくりは如何にあるべきか、町民の一人として何が出来るか、何をなすべきかを考えてまいります。

第1に人作り。歴史と先賢に恵まれ、整った教育環境が備わったわが三隅、それを町民あげて活用する知恵を出しあいましょう。

第2に産業の育成。厳しい主幹産業である農林漁業の中核後継者の育成と助成及び商工業の活性化を進めよう。

第3に住みよいまちづくり。自慢のできる生活環境、ゆとりと交流の快適環境づくりのための町民意識の高揚、諸行事への積極的参加へのPR。

これらを念頭に私は5つの「愛する心」を持ちたいと思います。自分を愛すること。家族を愛すること。隣人を愛すること。仕事を愛すること。そして何にもまして三隅を愛すること。町民のひとりとして。

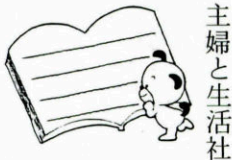
町の活性化について

「健全なる精神は健全なる身体に宿る」三隅町の憲章は其の諺の通りです。町民も憲章を老若男女の皆さんが守り、健康で明るい生活を送っている事は嬉しい限りです。

町おこし、村おこし等が叫ばれている今日この頃、町当局も種々計画を立案され苦心している事が窺えます。松島キャンプ場の整備、村田清風宅の修復、そして湯免公園内に香月絵画館を完成させた事等、又「センター」も工事中で内部には種々福祉施設が含まれるとの話、みんな期待しています。老残のこの身もその一人です。

そして、子供達が安心して遊べる楽しい広場や遊園地がほしいと言う声も聞かれます。集落排水浄化工事が完了すれば三隅川の清流も甦り水遊び場、釣り等で賑わい、又魚介類を放流する事に依り地域住民の楽しみも増す事と思われまます。湯免公園もやがて整備され、絵画館を訪れる人々の憩いの場となり、その周辺には四季折々に咲く樹木・草花等を植える事に依って一層の美観を増す事となり、一通過点に過ぎなかった旅人達も足を止め観賞して行く様になるのではなからうか。

自然と人間が調和して行く事は難しい。然し、調和する形で活性化を進めれば復帰・定住計画が三隅町の発展に繋がると思う。



主婦と生活社

「食べて治す医学
大事典」

おとな向

主婦と生活社
大図鑑宇宙編」

「ふしぎなぜ？

ど六冊） 講談社

（イヌ、ネコ、チョウ、
クワガタムシ・カブ
トムシ、アサガオな
ど六冊）

図鑑」

講談社カラー科学大

「こども向

トレセン図書室より

新刊図書紹介